

## セーフィーとBONX、映像と音声で現場の気づきを記録するAIエージェント 「Safie Report Agent」のPoCを開始

話した言葉にその瞬間の画像・映像が自動で紐づく。現場巡回の負担を軽減し「現場AX」を推進

クラウド録画サービスシェアNo.1（※1）のセーフィー株式会社（東京都品川区、代表取締役社長CEO 佐渡島 隆平、以下「セーフィー」）は、株式会社BONX（以下「BONX」）が提供する音声コミュニケーションプラットフォーム「BONX WORK」と連携し、映像と音声で現場の気づきを記録するAIエージェント「Safie Report Agent（セーフィー レポート エージェント）」を開発いたしました。2026年9月29日より、ベータ版を用いた実業務での価値検証（PoC）を開始することをお知らせいたします。

建設現場の足場の不備や資材の仮置きなど、現場で気づいたことをBONX WORKに話すだけで、その瞬間の画像・映像とあわせてテキストでの記録が残ります。これまで現場で課題となっていた「現場で写真を撮り、事務所に戻ってからエクセルなどに写真を貼り付けて文字を入力する膨大な手作業」や、「チャットツールで写真と文字を送ると情報が流れて対応状況が追えなくなる」を解消します。気づいたことをその場で共有できる状態をつくり、1日の終わりのレポートやメモの作成にとどまらず、現場での気づきがリアルタイムに共有・作成されるため、危険な状態の是正や現場の改善を迅速に行うことが可能となります。

AIを活用し、現場の一次情報を人の記憶や転記を介さずに記録することで、従来の「現場DX」を超えた「現場AX（AI Transformation）」を推進します。建設・インフラ業界等における深刻な人手不足や「8掛け社会」をはじめとする喫緊の社会課題解決に貢献してまいります。

なお本サービスは現在開発中です。本PoCを通じて、正式版の提供に向けた機能・運用への改善や改良を行ってまいります。



## ■本サービス開発の背景

少子高齢化に起因する労働力不足や「8掛け社会」が深刻化する昨今、建設・インフラ等の現場においては、現場巡回等に伴う指摘事項の記録や共有が、現場担当者の多大な工数的負担となっています。

現場担当者が直面している課題として、下記の内容が挙げられます。

- 現場で写真を撮影し、手書きメモを取った後、事務所に戻ってExcel等に写真を貼り付けて文字を転記する作業により、多大な時間や手間がかかる
- チャットツールで写真と文字を共有してもメッセージが流れ、対応状況が追えなくなる
- 記録や写真撮影のたびに作業の手や視線が止まり、本来集中すべき点検・巡視作業や安全確認が細分化・中断されてしまう

セーフィーは、従来の「人間が行う入力や手書き転記のスピードを上げる効率化」という枠組みを超え、「現場で作業する人が、記録のための面倒な操作や書類作成を意識しなくても勝手に記録が残る仕組み」を実現します。現場で見て話した一次情報がそのまま整理・記録されるアプローチにより、担当者が目の前の安全管理や是正処置、専門業務に集中できる環境を構築し、現場の生産性向上と社会課題の解決を同時に実現してまいります。

## ■「Safie Report Agent」の概要と特長

「Safie Report Agent」は、セーフィーが提供するクラウドカメラの「映像」と、BONX WORKを通じて取得される「音声」を組み合わせ、生成AIを用いることで現場巡回における気づきの記録を自動化するAIエージェントです。

時間をかけて整えた文書をつくるのではなく、必要な画像と要点だけをすばやくレポートやメモにすることを重視しています。気づきや記録がリアルタイムで関係者に伝わることで、少しでも早く現場の即時改善に繋げ、安全な状況をつくり出します。

### <主な特徴>

#### ① 映像と音声の自動連携

現場での移動や作業中に発せられた音声を認識し、該当する瞬間の画像と映像を自動的に抽出・紐づけします。カメラがすでに現場を撮り続けているため、写真を撮り直す必要も、どの写真がどの指摘のものかを後から突き合わせる作業が不要になります。

#### ② リアルタイムなレポートメモ作成で現場の状況を共有

従来のチャットツールでの共有で生じていた「情報が流れてしまい、進捗が追えない」という課題に対し、現場での発話と映像が自動でレポート・メモ化されます。これにより、1日の終わりの集計を待たずにリアルタイムな改善・是正指示が可能になるほか、指摘事項ごとに対応状況を管理し、是正されるまで追うことができます。

#### ③ ハンズフリーによる業務継続性

常に手が塞がる作業現場でも、手を止めることなく音声とカメラ映像の記録や共有が行える現場目線のワークフローを提供します。

#### ④ 一次情報の確実なデータ化

人の記憶や手書きを介さず、現場の作業を止めずに一次情報をデータ化します。入力現場のカメラとBONX WORKで完結し、記録された内容はPC・スマートフォンのブラウザからいつでも確認・共有できます。

ベータ版では、優先的に価値検証を行うべき領域として、建設・インフラ業界等の現場巡回業務を対象に、提供先を限定して実業務での適用検証を共創してまいります。



## ■展示会出展のご案内

クラウドカメラ×AIで安全管理を支援するをテーマに、本サービスや、AIを活用した不安全行動の自動検知、GO PTZ 見守りプラスによる夜間休日の盗難防止についてなど、現場でのセーフイー活用をご覧いただけます。

- イベント名：第63回 全国建設業労働災害防止大会（新潟）
- 出展日時：2026年10月8日(木) 10:30～17:00、2026年10月9日(金) 9:00～15:30
- 場所：朱鷺メッセ〈展示ホールB〉（〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1）
- 公式HP：[https://www.kensaibou.or.jp/public\\_relations/national\\_convention/index.html](https://www.kensaibou.or.jp/public_relations/national_convention/index.html)

## ■今後の予定と目指す未来

今後は、建設・インフラ業界における現場巡回・安全パトロール業務の最適化に注力しつつ、製造・介護・小売といった多岐にわたる現場領域への展開を進めてまいります。

セーフイーは、現場における映像データの価値を「防犯・確認」から「マルチモーダルな業務基盤」へと拡張させるAIカンパニーとして、「現場AX」による業務の効率化や社会課題の解決を推進します。あらゆる産業の生産性向上と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

## ■本サービスに関するお問い合わせ先

セーフイー株式会社お問い合わせページよりご連絡ください。

<https://safie.jp/contact/pro/>

（※1）テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査（2025）」より、エンジン別カメラ登録台数ベースのシェア（54.3%）

\* セーフイーは「セーフイー データ憲章」に基づき、カメラの利用目的別通知の必要性から、設置事業者への依頼や運用整備を逐次行っております。

＊ 取得する情報はデータ取得者のみで閲覧し、法令に基づく場合を除き、個人データの第三者提供はいたしません。また個人の特定や追跡などの利用は行いません。

## ■クラウド録画サービス「Safie（セーフィー）」とは



Safieはカメラとインターネットをつなぐだけで、いつでもどこでも映像を確認できるクラウド録画サービスシェアNo.1のサービスです。

「映像から未来をつくる」というビジョンのもと、人々の意思決定に映像をお役立ていただける未来を創造し、企業から個人まで誰もが手軽に利用できる映像プラットフォームを目指しています。

我々は「映像データであらゆる産業の”現場”をDXする」というビジネスコンセプトを掲げ、小売、土木・建設、製造、医療などのあらゆる現場のDXを率先して推進しています。

セーフィーは、データガバナンスに関する下記指針を遵守すると共に、ステークホルダーの皆様と協調して啓発活動にも取り組んでおります。また、社外有識者よりプライバシー保護などに関する助言を受けながら、指針及び実務上の運用基準の見直しを行っております。

- [データガバナンスに関する取り組み](#)
- [データ憲章（2022年4月1日発行）](#)

### 映像から未来をつくる

#### 【セーフィー株式会社の会社概要】

所在地 東京都品川区西品川1-1-1 住友不動産大崎ガーデンタワー

設立 2014年10月

代表者 佐渡島 隆平

事業内容 クラウド録画型映像プラットフォーム「Safie」の開発・運営および関連サービスの提供

サービスサイトURL <https://safie.jp/>

コーポレートサイトURL <https://safie.co.jp/>

採用ページ <https://safie.co.jp/teams>

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

セーフィー株式会社

<https://safie.jp/>

Email [pr@safie.jp](mailto:pr@safie.jp)

鈴木 章子 / 070-3351-1248